

## 内田氏の基調講演 における質疑応答

シンポジウム当日、  
会場のみなさんから頂いた  
質問に内田氏より  
回答いただきました。

### 03 官民共創への参加方法

Q 地元の小さな商店やお店が官民共創に参加するには、どのような方法がありますか。

A 例えば、入間市のこのサービスは物足りないな。なんでこんなに不便なんだろう、もっとこうすれば市民は使いやすいのに、こんなサービスがあれば助かるのに、などと感じることはありませんか。そういうことすべてに改善やイノベーションの余地があるわけです。当事者意識をもってまちを眺めれば、ヒントはいくらでもあるのではないのでしょうか。

### 01 効果的な広報戦略

Q 官民共創においては、まず取り組みを知ってもらうことだと思っています。講師が考える効果的な広報戦略についてお聞きしたい。

A まずは「官民共創ってこういうことよ」と誰にでもわかる成功事例をつくって、見本としてその取り組みを入間市が積極的に発信することだと思います。行政はどこか一つの企業に肩入れしてはいけないという縛りがあるので、そこがやりにくいかもしれませんが、上手く乗り越えてください。

### 04 民間の利益と行政の課題

Q 民間側の利益追及と行政の課題との兼ね合いについてどのように考えていますか。

A 民間企業は利益がなければ、事業を継続できませんので必ず利益が必要です。市は官民共創を盛り上げていきたいのであれば、「これは本当に市がやり続ける仕事なのか」「民間が担ったほうが市民は喜ぶのではないか」と精査して、市が良い業務を抱え込まず、民間が参入しやすい業務は解放していくという判断をしていくことになろうかと思います。規制緩和も大胆におこなっていく必要もあると思います。

### 02 失敗の共通点

Q 官民共創で失敗していることも共通点がありますか。

A 関わっている関係者すべてが「WIN(ウィン)」を感じなければ長続きはしません。官民で協力して新しい価値、ノウハウ、テクノロジーを創り出して、それを利益が出るビジネスにまで昇華していくところに、官民共創の斬新さや面白さがあるのです。行政が民間にボランティアを強いるようなモデルでは上手くいかなくなりません。



## 05 地域住民の参加促進

 官民共創を進める上で、地域住民の参加をどのように促進し、その声を反映させていくべきだとお考えですか。

 入間市にどのような課題があるのか、解決すべき課題はなにか、どのようなイノベーションを期待するのか、**地域住民から意見を出してもらおうのが良いのではない**でしょうか。最優先で取り組む課題を絞り込んで、その課題をコンペにして、解決のアイデアを日本中から公募したら面白いかもしれませんね。そしてそれを実現してくれる企業をさがしていくなどして、**地域住民、地域企業に関心を引くような仕掛けをしながら進めていく**のはどうでしょうか。そんなことを見たり聞いたりしていくうちに、地域住民のみなさんも気になってきて、当事者意識をもって市政に関わってくれるようになるのではないのでしょうか。やはり地元愛、が大事ですよ。

## 06 デジタル技術と官民共創

 デジタル技術やAIの進展は、官民共創にどのような影響を与えると予測されますか。

 これは**良い影響しかありません**。私はビジネスのすべては「課題解決」だと思っています。例えば、三種の神器の発明で家事がどれだけ楽になったか。そうした発想から20世紀はあらゆるものが発明され、製造業が大発展しました。そのように**ビジネスになる課題解決はあらかじめやりつくされてきて、いま残されている課題は、お金にならないか、企業が扱う内容ではないか、解決が困難なものか、どれかな**のです。これまではそのような課題を専業主婦や定年退職した方がボランティアとして担ってくれていましたが、**専業主婦はいなくなり、定年も延長されて担い手がいません**。そこで**デジタル技術**です。過去と比較するとデジタル技術を使うコストが劇的に下がってきました。**デジタル技術を使用することで人件費が抑えられ、生産性、効率化が進み、これまでとても採算が合わなかった課題も官民共創の対象として考えられるようになってきたのではない**かと思います。

## 07 市民が取り残されないか

 市民とだけでなく、企業とやっていくことで未来がみえる事例はありますか。市民が置いてけぼりになりそうな不安があります。

 そこは**心配する必要がない**と思います。前の質問でもお答えしていますが、**市民の担い手が劇的に不足してきますので、その穴を埋めてくれるのが民間企業**と考えていただければよいのかなと思います。**官民共創で生み出された価値を享受するのは市民のみなさんなので、市民のみなさんにも関心を持っていただき、あらゆる提案をしていただけたら、すばらしい価値が生み出されるのか**と思います。これからも当事者意識をもって市政に積極的に関わっていただけたら良いと思います。